

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
51311	小規模下水道施設維持管理事業	公営企業局(下水道整備担当)	下水道管理課	シートA	2
51311	他事業関連改築事業	公営企業局(下水道整備担当)	下水道管理課	シートA	3
51311	管渠改良事業	公営企業局(下水道整備担当)	下水道管理課	シートB	4
51311	既設管維持管理事業	公営企業局(下水道整備担当)	下水道管理課	シートA	6
51311	マンホールポンプ等管理事業	公営企業局(下水道整備担当)	下水道管理課	シートA	7
51311	下水道台帳整備事業	公営企業局(下水道整備担当)	下水道管理課	シートA	8
51321	公共下水道接続推進事業	公営企業局(下水道整備担当)	下水道管理課	シートA	9
51321	宅内柵設置資金貸付事業	公営企業局(下水道整備担当)	下水道管理課	シートA	10
51321	私道管渠整備事業	公営企業局(下水道整備担当)	下水道管理課	シートB	11
51321	公共柵設置事業	公営企業局(下水道整備担当)	下水道管理課	シートB	13

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当グループ名	維持管理	連絡先	948-6489				
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	小川 安博	リーダー名	副主幹	富野 浩司	担当者名	主任	青木 俊介	技師	米田 昂史
令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	下水道サービス課	担当グループ名	管渠管理担当	連絡先	948-6956				
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	光宗 弘明	リーダー名	副主幹	高岡 英文	担当者名	主査	伊与田 亮	主任	柿内 正徳

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51311	小規模下水道施設維持管理事業					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)		
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】					笑顔プログラム	個別プログラム	-				
政策	快適な生活基盤をつくる						重点プロジェクト	-				
施策	下水道等の整備						主な取り組み	-				
主な取り組み	下水道の管理・更新					市長公約						
取り組みの柱	下水道施設の長寿命化											
総合戦略	基本目標	-					取組み	-				
	政策	-						-				
	施策	-						-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)		2:無し							

根拠法令, 条例, 個別計画等	松山市農業集落排水処理施設管理条例										
事業の目的(どのような状態にするか)	農業集落排水処理施設の管渠の維持管理を行う。										
背景(どのような経緯で開始したか)	大浦地区に農業集落排水処理施設、管渠を整備したため。										
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	大浦地区(農業集落排水処理施設)の管渠の維持管理を行い、生活環境の維持を行う。										
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由								
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期							

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	規模下水道事業特別会 款	小規模下水道事業費		目	総務管理費	R2予算措置時期		当初
			項	目			R2年度	R3年度	
現計予算額(A) (単位:千円)				100		400		400	
決算額(B) (単位:千円)				0		0		0	
内訳 (単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳		国支出金		0		0		0	
		県支出金		0		0		0	
		市債		0		0		0	
		その他		0		0		0	
		一般財源		0		0		400	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算					なし			工事請負費:400	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		100		400			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	大浦地区の小規模下水道施設の維持管理を適正に実施し、大浦地区住民の快適な生活環境を維持する。										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	管渠の詰まり、清掃、苦情対応等の維持管理業務は幸いにも小規模であったため、修繕費等の維持管理費を使用することなく直営作業によって適正な維持管理を行った。							
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	適正な維持管理に寄与しているため								
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない					
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し										
R3年度の目標	施設の適正な維持管理に努める。			R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	汚水管渠の修繕工事等、維持管理を行う。			特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策			特に無し

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当グループ名	維持管理	連絡先	948-6489			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	小川 安博	リーダー名	副主幹	担当者名	主任	青木 俊介	技師	米田 昂史
令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	下水道サービス課	担当グループ名	管渠管理担当	連絡先	948-6956			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	光宗 弘明	リーダー名	副主幹	担当者名	主査	伊与田 亮	主任	柿内 正徳

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51311	他事業関連改築事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)		
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-				
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-				
施策	下水道等の整備					主な取り組み	-				
主な取り組み	下水道の管理・更新				市長公約	-					
取り組みの柱	下水道施設の長寿命化					-					
総合戦略	基本目標	-				取組み	-				
	政策	-					-				
	施策	-					-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)		2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等	下水道法第1条及び第3条第1項										

事業の目的(どのような状態にするか)	下水道施設(マンホール蓋、管渠等)の適切な維持管理を目的とする。									
背景(どのような経緯で開始したか)	主に国・県・市が行う道路事業等により、新設・移設される道路や整備される公園などに埋設されている下水道施設を、その施設と同時に改良することで経費の節減を行う。									
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	道路の古くなった舗装をやり変える際に、古くなった下水道マンホール蓋を同時に取り換えることで経費の節減と事故の未然防止を行う。									
受益者負担の状況	負担の有無	/			「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	/				
始期・終期(年度)	/	~	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	公共下水道事業会計	款	資本的支出		項	建設改良費	目	管渠改良費	R2予算措置時期	当初	繰越
				R元年度	R2年度							
現計予算額(A)(単位:千円)							90,217		130,000			234,200
決算額(B)(単位:千円)							38,408		55,792			
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳				国支出金			0		0			0
				県支出金			0		0		0	
				市債			0		0		0	
				その他			38,408		55,792		234,200	
一般財源			0		0		0					
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							工事請負費:31,397 委託料:4,254		工事請負費:122,000 委託料:45,000			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							決算額のうち7,212千円は前年度繰越分		予算額のうち105,000は前年度繰越分			
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)				51,809		74,208			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	国・県・市の道路事業により、下水道マンホール蓋の高さの調整約300箇所										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	目標どおり実施できた。							
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	下水道施設の効率的な維持管理に寄与しているため。								
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない					
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し										
R3年度の目標	他事業と連携し、経費削減と事故防止に努める。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	国・県・市の道路事業により、下水道マンホール蓋の高さの調整約500箇所、市道改良範囲内の下水道施設の移転補償(実施設計及び移設工事)			特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策			特に無し	

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当グループ名	計画・工事	連絡先	948-6956			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	小川 安博	リーダー名	副主幹	担当者名	主任	柿内 正徳	主任	澤田 義之
令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	下水道サービス課	担当グループ名	管渠管理担当	連絡先	948-6956			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	光宗 弘明	リーダー名	副主幹	担当者名	主査	伊与田 亮	主任	澤田 義之

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51311	管渠改良事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	313	個別プログラム	笑顔を守るプログラム	
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	みんなで守り助け合う「安心して暮らせるまちづくり」プロジェクト
施策	下水道等の整備					主な取り組み	耐震化対策の推進
主な取り組み	下水道の管理・更新		市長公約				
取り組みの柱	下水道施設の長寿命化						
総合戦略	4223	基本目標	④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)		取組み	③ 地震等の災害に備え、水道事業では主要な水道管である基幹管路の耐震化を進めます。さらに、救急医療機関や指定避難所になる小中学校など重要施設への給水ルートを確認するため、計画的に水道管の耐震化を進めます。また、下水道事業では平常時から机上型訓練を実施し、被災時に十分機能する体制を強化するとともに、施設の耐震化及び災害用トイレの設置を行います。さらに、大きな浸水被害等が想定される箇所に対し、重点的な対策を計画的に進めます。	
		政策	②生活の質と都市力の向上				
		施策	②安全・安心な暮らしの推進				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)	1:有り				
根拠法令,条例,個別計画等	第4次松山市下水道整備基本構想						

事業の目的(どのような状態にするか)	下水道施設(管渠等)の恒久的な使用を目標とし、適切な維持管理を行うことで健全で持続可能な下水道事業を実施し、安定した住民サービスの継続を図る。					
背景(どのような経緯で開始したか)	長寿命化事業は、平成25年度から「下水道長寿命化支援制度」(平成20年4月に国が創設)を利用し、耐震化事業については、平成20年度から実施しており、第4次松山市下水道整備基本構想に基づき、計画的に下水道管渠の長寿命化及び耐震化を図る。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	長寿命化事業は、今後も老朽化していく下水道施設に対し、第4次松山市下水道整備基本構想及びストックマネジメント計画に基づき、管内調査を実施し損傷度の判定を行い、長寿命化対策として非開削工法で内面の補強を実施し、既設下水道管渠の改築更新を行っている。耐震化事業は、同じく第4次松山市下水道整備基本構想に基づき、重要な路線のうち、平成9年度以前の耐震基準で整備された管渠について調査診断を行い、結果に応じた耐震対策を実施している。いずれも国からの社会資本整備総合交付金の交付を受けて実施している。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	公共下水道事業会計	款	資本的支出		建設改良費	目	管渠改良費	R2 予算措置時期	当初	繰越
				R元年度	R2年度				R2年度	R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)					1,168,888			1,399,016			979,486
決算額(B)(単位:千円)					586,345			755,656			
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳			国支出金		241,097			342,449			308,832
			県支出金		0			0			0
			市債		252,100			314,400			568,300
			その他		93,148			98,807			102,354
			一般財源		0			0			0
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							工事請負費:656,910 委託料:98,289			工事請負費:829,801 委託料:145,600	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							予算額のうち201,270千円は補正予算 決算額のうち656,481千円は前年度繰越分 流用による増あり			予算額のうち618,261千円(うち201,270千円は補正 予算)は前年度繰越分	
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)			582,543			643,360			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	下水道管の老朽化対策として長寿命化工事 L=1.2kmを発注した。 下水道管の地震対策として耐震化工事 L=1.7kmを発注した。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	管渠改良事業全体として目標どおりである。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	生活環境の保全を図っているため			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し					
R3年度の目標	下水道管の老朽化対策や地震対策として合計で3.2kmの対策工事を行い、健全で持続可能な下水道事業を実施する。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	下水道管の老朽化対策や地震対策として合計で3.2kmの対策工事を発注する。		特に無し

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	(中央処理区の一部管渠対象)長寿命化率	km	目標値				15.2		目標値	15.2	
			実績値				2.9		達成年度	R2年度	
		%	達成度				19.1				
		指標の種類	3:累計での増加を目指す指標							「下水道長寿命化計画」に基づき定めた、長寿命化対策の目標延長。	
		本指標の設定理由	下水道管渠の長寿命化対策							最終目標値の設定の考え方	
	(全処理区の一部管渠対象)長寿命化率	km	目標値					2.7	4.4	目標値	6.0
			実績値							達成年度	R5年度
		%	達成度								
		指標の種類	3:累計での増加を目指す指標							「ストックマネジメント計画」に基づき定めた、長寿命化対策の目標延長。	
		本指標の設定理由	下水道管渠の長寿命化対策							最終目標値の設定の考え方	
	(西部・中央処理区の一部管渠対象)耐震化率	km	目標値				4.5	6.0	7.4	目標値	7.4
			実績値				17.6			達成年度	R4年度
%		達成度				391.1					
	指標の種類	3:累計での増加を目指す指標							「下水道管渠総合地震対策計画」に基づき定めた、耐震化対策の目標延長。		
	本指標の設定理由	下水道管渠の耐震対策							最終目標値の設定の考え方		
成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
		指標の種類									
		本指標の設定理由								最終目標値の設定の考え方	
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
		指標の種類									
		本指標の設定理由								最終目標値の設定の考え方	
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
%		達成度									
	指標の種類										
	本指標の設定理由								最終目標値の設定の考え方		
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	管渠改良事業全体として目標どおりである。									
	成果指標										
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名 部等長名	公営企業局 白石 邦彦	課等名 課等長名	下水道管理課 小川 安博	担当グループ名 リーダー名 副主幹	維持管理担当 富野 浩司	連絡先 担当者名	948-6489 主任 青木 俊介	技師	米田 昂史
令和2年度	部局等名 部等長名	下水道部 白石 邦彦	課等名 課等長名	下水道サービス課 光宗 弘明	担当グループ名 リーダー名 副主幹	管渠管理担当 高岡 英文	連絡先 担当者名	948-6956 主査 伊与田 亮		

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51311	既設管維持管理事業			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-	
施策	下水道等の整備					主な取り組み	-	
主な取り組み	下水道の管理・更新				市長公約	-		
取り組みの柱	下水道施設の長寿命化					-		
総合戦略	基本目標	-			取組み	-		
	政策	-				-		
	施策	-				-		
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	下水道法第1条及び第3条第1項							
事業の目的(どのような状態にするか)	市民生活に支障がないよう施設の適切な維持管理を行うことを目的とする。							
背景(どのような経緯で開始したか)	下水道施設に起因する下水道事故を未然に防止するため。							
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	下水道処理区内の下水道施設の巡視を行い、点検・調査により判明した危険箇所・破損箇所の修繕を行う。(陥没補修工事・汚水管補修工事・汚水管清掃業務委託など)							
受益者負担の状況	負担の有無	/		「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)		～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	公共下水道事業会計	款	下水道事業費用 資本的支出		営業費用 管渠改良費		R2予算措置時期	当初
				項	目	管渠費 管渠改良費			
				R元年度	R2年度	R3年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				101,717	105,276	80,821			
決算額(B)(単位:千円)				68,894	73,413				
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			30	28	0			
	県支出金			0	0	0			
	市債			0	0	0			
	その他			68,864	73,385	80,821			
一般財源			0	0	0				
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				修繕費:22,837 工事請負費:16,550 委託料:8,968		修繕費:25,061 工事請負費:22,000 委託料:19,732			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				流用による減あり					
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)			32,823	31,863				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	管渠・樹等の補修件数:約170件							
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予防保全は予定通り実施した。事後保全は適切な対応が出来た。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	下水道施設の効率的な維持管理に寄与しているため					
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し							
R3年度の目標	継続し健全な下水道施設を保つため、適切な維持管理に努める。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	管渠・樹等の補修件数:約200件		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		特に無し

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当グループ名	維持管理担当	連絡先	948-6489				
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	小川 安博	リーダー名	副主幹	富野 浩司	担当者名	主任	青木 俊介	技師	米田 昂史
令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	下水道サービス課	担当グループ名	管渠管理担当	連絡先	948-6956				
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	光宗 弘明	リーダー名	副主幹	高岡 英文	担当者名	主査	伊与田 亮		

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51311	マンホールポンプ等管理事業					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】					笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	快適な生活基盤をつくる						重点プロジェクト	-		
施策	下水道等の整備						主な取り組み	-		
主な取り組み	下水道の管理・更新					市長公約				
取り組みの柱	下水道施設の長寿命化									
総合戦略	基本目標	-								
	政策	-								
	施策	-								
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	下水道法第1条及び第3条第1項									
事業の目的(どのような状態にするか)	マンホールポンプ等の適正な管理により、市民生活に支障をきたさないことを目標とする。									
背景(どのような経緯で開始したか)	マンホールポンプの不具合等に起因する下水道事故を未然に防止するため。									
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	汚水マンホールポンプ32箇所・雨水マンホールポンプ2箇所・濾過スクリーン3箇所・ゲート2箇所の維持管理業務を実施する。 また、上記下水道管渠施設の定期点検業務と緊急対応業務について業務委託を発注する。									
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由								
始期・終期(年度)		～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	公共下水道事業会計	款	下水道事業費用 資本的支出		営業費用 建設改良費		管渠費 管渠改良費		R2予算措置時期	当初
				R元年度	R2年度	R3年度					
現計予算額(A)(単位:千円)				30,440		30,292				25,960	
決算額(B)(単位:千円)				23,613		25,810					
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0		0				0	
	県支出金			0		0				0	
	市債			0		0				0	
	その他			23,613		25,810				25,960	
	一般財源			0		0				0	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						工事請負費:8,873 点検等委託料:6,705 光熱費:6,218				工事請負費:12,200 点検等委託料:6,160 光熱水費:3,500	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用による減あり					
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		6,827		4,482					

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	下水道処理区域内に点在するマンホールポンプ等39箇所の適正な点検整備									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り実施できたため						
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	下水道施設の効率的な維持管理に寄与しているため							
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し									
R3年度の目標	継続し健全な下水道施設を保つため、適切な維持管理に努める。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	下水道処理区域内に点在するマンホールポンプ等49箇所の適切な点検整備		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		上下水道統合に伴い、管理区分の見直しに伴い、管理施設が10箇所増加		

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当グループ名	維持管理担当	連絡先	948-6489			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	小川 安博	リーダー名	副主幹	富野 浩司	担当者名	主任	青木 俊介	
令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	下水道サービス課	担当グループ名	管渠管理担当	連絡先	948-6956			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	光宗 弘明	リーダー名	副主幹	高岡 英文	担当者名	主査	伊与田 亮	主任 柿内 正徳

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51311	下水道台帳整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	下水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	下水道の管理・更新		市長公約	-		
取り組みの柱	下水道施設の長寿命化			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	下水道法第23条					

事業の目的(どのような状態にするか)	下水道法に基づき下水道台帳を整備し、効率的な下水道施設の維持管理を行う。また、下水道台帳の閲覧者に対し、正確な情報を提供し市民サービスの向上を図る。					
背景(どのような経緯で開始したか)	下水道法第23条第3項により下水道台帳の閲覧を求める者に対して、情報を提供する必要があることから。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	下水道台帳作成業務委託の発注 下水道施設が完成した情報を適正に台帳入力する。 委託先:国際航業(株)ほか					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由		-		
始期・終期(年度)	~	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	公共下水道事業会計	款	下水道事業費用		目	総係費	R2予算措置時期	
				項	営業費用			当初	
				R元年度	R2年度			R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				13,857			21,544		23,961
決算額(B)(単位:千円)				9,349			20,857		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳			国支出金	0			0		0
			県支出金	0			0		0
			市債	0			0		0
			その他	9,349			20,857		23,961
			一般財源	0			0		0
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						委託料:15,820 賃借料:5,029		委託料:18,924 賃借料:5,030	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		4,508			687		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	下水道台帳作成業務委託の発注					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り実施できたため		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	下水道施設の効率的な維持管理に寄与しているため			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し					
R3年度の目標	継続し適切な公共下水道台帳を保つため、適切な業務委託に努める。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	下水道台帳作成業務委託 下水道台帳入力業務委託 下水道地理情報システム運用支援業務委託	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特に無し

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当グループ名	総務・普及啓発担当	連絡先	948-6554			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	小川 安博	リーダー名	主幹	遠藤 裕之	担当者名	主任	瀬良 卓	
令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	下水道サービス課	担当グループ名	負担金・普及啓発担当	連絡先	948-6531			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	光宗 弘明	リーダー名	主査	須田 大介	担当者名	主任	毛利 彩子	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51321	公共下水道接続推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	下水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	下水道の普及促進		市長公約			
取り組みの柱	下水道管渠整備の推進					
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	下水道法第10条,第11条の3 松山市下水道条例第3条					

事業の目的(どのような状態にするか)	法令に定める期間を超えて公共下水道に接続していない家屋を減らすことにより、他の下水道利用者との公平性の確保および下水道事業経営の健全化につなげることを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	下水道事業を始めることで影響を受ける対象者が法令に定める期間を超えて公共下水道に接続していない状況が様々な事情から発生してしまつたため、その解消と把握のため取り組んでいる。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	公営企業局					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	~	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	公共下水道事業会計	款	下水道事業費用		目	業務費	R2予算措置時期	当初
				項	営業費用				
				R元年度	R2年度	R3年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				6,194	3,587				3,240
決算額(B)(単位:千円)				5,917	2,385				
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳		国支出金		0	0				0
		県支出金		0	0				0
		市債		0	0				0
		その他		5,917	2,385				3,240
		一般財源		0	0				0
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算					委託料:2,243		委託料:2,979		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		277	1,202				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	接続勧奨件数:2,624件 接続実績件数:637件					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通りに事業が実施できたため		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	公共下水道への接続促進を行うことで下水道事業経営の健全化に寄与しているため			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し					
R3年度の目標	効果的な接続勧奨の実施のため下水道への未接続理由の把握に努める		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	効果的な接続勧奨の実施		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当グループ名	私道・樹工事受付担当	連絡先	948-6457				
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	小川 安博	リーダー名	副主幹	二神 大造	担当者名	主任	東倉 一博		
令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	下水道サービス課	担当グループ名	排水設備担当	連絡先	948-6820				
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	光宗 弘明	リーダー名	副主幹	関谷 好郎	担当者名	技師	宇都宮 真吾	主事	神崎 福美

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51321	宅内樹設置資金貸付事業	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)	事業区分	6:出資金・貸付金
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	下水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	下水道の普及促進		市長公約	-		
取り組みの柱	下水道管渠整備の推進			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	松山市公営企業局宅内ます設置資金貸付規程					
事業の目的(どのような状態にするか)	公共下水道の入口となる宅内ますを自己負担で設置する際に、工事による経済的負担を考え、無利息で資金の貸付を行う援助制度により、水洗化の促進を図る。					
背景(どのような経緯で開始したか)	公共下水道と宅内排水の排水管を接続するための公共ますを、公共下水道の本管工事期間中に敷地内に設置しなかった者が、工事完了後に設置を希望する場合は平成28年4月から原則自己負担となったため、支援制度として開始した。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	公共下水道処理区域で公共下水道に切替接続するための宅内ますを自己負担で設置する者。 貸付対象者:市県民税、固定資産税及び受益者負担金を滞納していないこと。宅内ますを設置する土地の所有者で設置した宅内ますを公共ますとして寄付すること。 貸付金額:土地1か所につき60万円以内 申請方法:貸付金の申請書を市に提出し、改修工事完了後、設置工事完了書を市に提出、その後、完了検査を受けて、貸付金を支払う。					
受益者負担の状況	負担の有無	[有り]の場合,基準や金額等 [無し]の場合,その理由		-		
始期・終期(年度)	平成 28 ~ 令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	公共下水道事業会計	款	資本的支出		長期貸付金	目	宅内樹設置資金貸付金	R2予算措置時期	当初
				R元年度	R2年度					
現計予算額(A)(単位:千円)				12,000				6,000		6,000
決算額(B)(単位:千円)				0				0		0
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0				0		0
	県支出金			0				0		0
	市債			0				0		0
	その他			0				0		6,000
	一般財源			0				0		0
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						なし		宅内樹設置資金貸付金:6,000		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		12,000				6,000		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	宅内ますを自己負担で設置しようとする方に、無利息で設置資金の貸付を行う。(R2年度実績0件)					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	申請が無かったため		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	4:どちらもいえない	左記の理由	申請が無かったため			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し					
R3年度の目標	設置資金を無利息で貸し付け、水洗化率の向上に努める。	R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	設置資金を無利息で貸し付け、水洗化の普及、促進を図る。	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特に無し	

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当グループ名	私道・樹工事受付担当	連絡先	948-6457			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	小川 安博	リーダー名	副主幹	二神 大造	担当者名	主任	東倉 一博	
令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	下水道整備課	担当グループ名	私道・樹受付担当	連絡先	948-6457			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	奥村 栄二	リーダー名	副主幹	二神 大造	担当者名	主任	東倉 一博	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51321	私道管渠整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	下水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	下水道の普及促進		市長公約	-		
取り組みの柱	下水道管渠整備の推進			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等	私道における公共下水道敷設要綱					
事業の目的(どのような状態にするか)	住民の費用負担が大きい私道への下水道管敷設を市が施工、又は費用の助成をすることにより、水洗便所への切り替えを促進し、公衆衛生の向上と公共水域の水質の保全に資する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	建設省通達のあった水洗便所普及促進要領4(6)(昭和47.9.28)で要件を満たす私道は、後日の紛争の予防措置を講じた上で、公共下水道として管渠を整備し、又は私道排水設備設置の助成を行うよう努めるものとする。とされた。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	公共下水道が整備されている公道に通じる私道を対象に、一定の要件を満たす場合、沿線にお住まいの方等の申請に基づき、公共下水道を整備する。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	昭和 47	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	公共下水道事業会計	款	資本的支出		建設改良費	目	管渠建設費	R2 予算措置時期	当初	繰越
				R元年度	R2年度						
現計予算額(A)(単位:千円)						630,546		460,955			737,992
決算額(B)(単位:千円)						300,710		265,564			
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳				国支出金		24,035		16,355			28,180
				県支出金		0		0		0	
				市債		224,900		142,700		665,110	
				その他		51,775		106,509		44,702	
			一般財源		0		0			0	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							工事請負費:211,579千円 委託料:25,314千円 補償費:28,667千円		工事請負費:656,047千円 委託料:40,062千円 補償費:41,484千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							決算額のうち139,622千円は前年度繰越分 流用による増あり		予算額のうち260,074千円は前年度繰越分		
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)				329,836		195,391			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	申請に基づき、予算の範囲内で公共下水道を整備する。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り実施できたため		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	徐々にではあるが、生活環境の改善や公共用水域の水質保全が図られているため			
事業の公共性	必要性	1 2 3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し					
R3年度の目標	下水道処理人口普及率65.0%		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	石井2号汚水管工事 久枝2号汚水管工事	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特に無し

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	申請件数	件	目標値	-	-	-	-	-	目標値	-	
			実績値	36	12	13	-	-	達成年度	-	
			% 達成度	-	-	-	-	-	-	-	-
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	市民からの申請事業であり、市が計画して施工する事業でないため、目標値の設定ができない。				
	本指標の設定理由	本事業の活動状況が把握できる指標であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	下水道処理人口普及率(市内5処理区)	%	目標値	63.0	63.6	64.3	65.0	65.6	目標値	69.0	
			実績値	63.0	63.8	64.7			達成年度	R8年度	
			% 達成度	100.0	100.3	100.6					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	第4次松山市下水道整備基本構想に設定している目標であるため。				
	本指標の設定理由	第4次松山市下水道整備基本構想に基づいて設定している。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	市民からの申請事業であり、市が計画して施工するものではないが、予定より申請件数が少なかった。									
	成果指標	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができた。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当グループ名	私道・樹工事受付担当	連絡先	948-6457			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	小川 安博	リーダー名	副主幹	二神 大造	担当者名	主任	東倉 一博	
令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	下水道整備課	担当グループ名	私道・樹工事受付担当	連絡先	948-6457			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	奥村 栄二	リーダー名	副主幹	二神 大造	担当者名	主任	東倉 一博	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51321	公共樹設置事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	下水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	下水道の普及促進		市長公約	-		
取り組みの柱	下水道管渠整備の推進			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	松山市下水道条例、水洗便所普及促進要領4(6)(昭和47.9.28)					
事業の目的(どのような状態にするか)	住民の費用負担が大きい下水道本管への接続を市が施工、維持管理することにより、水洗便所への切り替えを促進し、公衆衛生の向上と公共水域の水質の保全に資する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	分流方式で排除できる公共下水道の整備の進捗に伴い、公共樹の設置に取り組んでいる。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	分流方式で排除できる公共下水道が整備されている道路に面し、公共樹が設置されていない宅地を対象に、申請に基づき公共樹を設置する。					
受益者負担の状況	負担の有無	[有り]の場合,基準や金額等 [無し]の場合,その理由		-		
始期・終期(年度)	昭和 47	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	公共下水道事業会計	款	資本的支出		建設改良費	目	管渠建設費	R2 予算措置時期	当初	繰越
				R元年度	R2年度						
現計予算額(A)(単位:千円)					506,469			490,525			491,586
決算額(B)(単位:千円)					420,544			369,039			
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳			国支出金		91			70			10,000
			県支出金		0			0			0
			市債		312,300			251,400			455,973
			その他		108,153			117,569			25,613
			一般財源		0			0			0
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							工事請負費:305,987千円 委託料:60,151千円			工事請負費:411,803千円 委託料:77,908千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							決算額のうち83,209千円は前年度繰越分 流用による増あり			予算額のうち169,098千円は前年度繰越分	
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)			85,925			121,486			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	申請に基づき、予算の範囲内で公共下水道を整備する。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り実施できたため		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	徐々にではあるが、生活環境の改善や公共用水域の水質保全が図られているため			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し					
R3年度の目標	工事説明会時に制度について周知を図ること で、後付樹の申請数を減少させる。		R3年度の 主な取り組み内容 (予定含む)	処理区域内で、申請に基づき公共樹を設置する。		特に無し

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	申請件数	件	目標値	-	-	-	-	-	目標値	-	
			実績値	408	363	385	-	-	達成年度	-	
		%	達成度	-	-	-	-	-			
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標									
	本指標の設定理由	第4次松山市下水道整備基本構想に基づいて設定している。				最終目標値の設定の考え方	市民からの申請事業であり、市が計画して施工する事業でないため、目標値の設定ができない。				
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	下水道処理人口普及率 (市内5処理区)	%	目標値	63.0	63.6	64.3	65.0	65.6	目標値	69.0	
			実績値	63.0	63.8	64.7	-	-	達成年度	R8年度	
		%	達成度	100.0	100.3	100.6	-	-			
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標									
	本指標の設定理由	第4次松山市下水道整備基本構想に基づいて設定している。				最終目標値の設定の考え方	第4次松山市下水道整備基本構想に設定している目標であるため。				
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
		目標値						目標値			
		実績値						達成年度			
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	市民からの申請事業であり、市が計画して施工するものではないが、予定より申請件数が少なかった。									
	成果指標	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができた。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											